

事業名：公共街路灯新設更新等事業

土木事務所道路管理課 維持係

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の 基本方針	01 安全な暮らしの確保			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和42年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内全域									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市が管理している市道道路照明について、必要な改修及び更新等を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
公共街路灯の新設・更新により、その機能の維持・向上と、夜間の地域環境の向上が図られる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市内全域面積	Km ²	187.57	187.38	187.38	187.38
対象指標 2						
活動指標 1	新設更新灯数	基	42	43	45	40
活動指標 2						
成果指標 1	公共街路灯数	基	3,232	3,291	3,291	3,324
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	25,028	16,988	40,750	42,840
正職員人件費 (B)		千円	2,749	1,553	1,530	1,541
総事業費 (A+B)		千円	27,777	18,541	42,280	44,381

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	道路照明設備点検事業により判明した老朽化による倒壊危険度が高い公共街路灯の更新、撤去	・工事費 42,840千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
29年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
維持		改革方向性（成果）	向上		
見直し			維持	○	
新規			低下		
休止					
廃止					
その他					

事業名：空家等対策計画策定事業

建築指導課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の 基本方針	01 安全な暮らしの確保			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成29年度	終了年度	平成29年度	区分1	新規	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内全域の空家									
手段（事務事業の内容、やり方）									
空家等がもたらす課題の解消に向け、空家等対策計画を策定する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
危険空家への対応及び空家等の活用により、安全で安心な住環境を確保する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市内全域の空家（今後調査）	戸	0	0	0	0
対象指標 2						
活動指標 1	空家等対策協議会開催回数	回	0	0	0	6
活動指標 2						
成果指標 1	空家等対策計画の策定数	件	0	0	0	1
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	5,540
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	7,703
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	13,243

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	空家等対策計画策定関連業務委託により所有者意向調査・空家実態調査・空家台帳整備・資料作成等を実施し、有識者を交えた江別市空家等対策協議会・庁内検討会議による協議・議論に基づき江別市空家等対策計画を策定する。	<ul style="list-style-type: none"> 空家等対策計画策定関連業務委託 5000千円 協議会開催 400千円 （委員等報酬・旅費・需用費） 計画書・計画概要印刷製本費 140千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
29年度への改善方向性	危険空家への対応及び空家等の活用を進め、安全で安心な住環境を確保するため、空家等対策計画を策定する。		減少	維持	増加
維持		改革方向性（成果）	向上		○
見直し			維持		
新規			低下		
休止					
廃止					
その他					

事業名：河川等維持事業

土木事務所治水課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の 基本方針	02 地域防災力の向上			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和57年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
江別市が管理する河川及び調整池	
手段（事務事業の内容、やり方）	
江別市が管理する河川及び調整池において発生した不良箇所を解消するための工事等を行う。 1) 法面補修工事、浚渫工事 2) 管理用道路補修工事 3) 調整池における防護柵補修など	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
河川や調整池が、本来発揮すべき機能を維持する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	準用河川及び普通河川数	河川	25	25	25	25
対象指標 2	調整池数	ヶ所	27	27	27	27
活動指標 1	河川・調整池の補修等工事件数	件数	3	7	3	3
活動指標 2						
成果指標 1	河川・調整池の不良箇所数	件数	0	5	3	3
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	8,712	8,824	8,500	9,837
正職員人件費 (B)		千円	2,356	2,329	2,295	2,311
総事業費 (A+B)		千円	11,068	11,153	10,795	12,148

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	市が管理する準用河川・普通河川の床ざらい等 計画的に行うもの 緊急的に必要となる河川維持	河川床ざらい等 8,837千円 緊急工事費 1,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：排水機場維持管理事業

土木事務所治水課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の 基本方針	02 地域防災力の向上			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	排水機場
手段（事務事業の内容、やり方）	市内排水機場等の点検整備・点検操作を委託で実施する事により、災害に備えた施設・設備の維持管理を行う。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	施設・設備を適切に管理し、緊急時に対応できる機能を維持する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	排水機場数	箇所	19	19	18	18
対象指標 2						
活動指標 1	維持管理経費	千円	60,240	61,222	60,862	63,366
活動指標 2	施設巡回・点検回数	回	9	9	9	9
成果指標 1	不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	60,240	61,222	60,862	63,366
正職員人件費 (B)		千円	4,712	4,658	4,591	4,622
総事業費 (A+B)		千円	64,952	65,880	65,453	67,988

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	水害時に備えた施設の点検、整備、修繕及び緊急運転 対応など 排水機場（18機場）の月次運転 施設の法定点検 排水機場等施設修繕 不具合時応急修繕 大雨時の緊急運転	排水機場（18機場）の月次点検費用 46,440千円 施設の法定点検費用 1,207千円 施設等修繕費用 2,000千円 不具合時応急修繕に要する費用 2,000千円 大雨時の緊急運転費用 5,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別河川防災ステーション管理経費 土木事務所治水課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の 基本方針	02 地域防災力の向上			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
河川防災ステーション									
手段（事務事業の内容、やり方）									
河川防災ステーションの維持・管理を行う									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設が適切に管理運営され、災害時に防災拠点として利用される。また、平常時には利用者が多目的に利用できるとともに、河川への防災意識の向上が図られる。									

指標・事業費の推移							
		区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	施設数		施設	1	1	1	1
対象指標 2							
活動指標 1	開設日数		日	308	308	308	308
活動指標 2							
成果指標 1	不具合件数		件数	0	0	0	0
成果指標 2	利用者数		人	74,257	83,112	81,655	78,655
事業費 (A)			千円	17,957	18,920	20,255	21,779
正職員人件費 (B)			千円	4,712	4,658	4,591	3,852
総事業費 (A+B)			千円	22,669	23,578	24,846	25,631

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
29年度	災害時の活動拠点となる施設の維持管理業務 館内管理業務 館内保守点検業務 施設等修繕	館内管理業務費用	13,000千円
		館内の保守点検費用	2,204千円
		施設等修繕費用	1,400千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：耐震化推進支援事業

建築指導課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の 基本方針	02 地域防災力の向上			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成22年度	終了年度	平成32年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市耐震改修促進計画に基づく民間住宅の所有者及び、居住者又は居住予定者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
同計画に基づき耐震化を促進するために民間住宅の所有者に対して無料耐震診断を実施する他、「江別市木造住宅耐震改修等補助金交付に関する要綱」により専門家が行う耐震診断及び耐震改修工事の費用の一部を補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
現行の耐震基準に満たない既存建築物の耐震性能の向上を図り、地震による建築物の倒壊被害から市民の生命及び財産に対する被害を未然に防止する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	対象建築物数	戸	1,390	1,390	1,390	4,656
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	0	0	750	1,772
活動指標 2	無料耐震診断を行った件数	件	4	3	0	0
成果指標 1	補助利用率	%	0	0	100	100
成果指標 2	補助金を受けた件数	件	0	0	7	7
事業費 (A)		千円	0	0	750	1,772
正職員人件費 (B)		千円	5,497	3,882	5,356	5,392
総事業費 (A+B)		千円	5,497	3,882	6,106	7,164

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・無料耐震診断 ・専門家が行う耐震診断及び耐震改修工事に対して補助金を支出 ・出前講座「住宅の耐震化セミナー」の実施、支援制度のPR ・地震防災マップの更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断・耐震改修への補助 750千円（半分は国費による交付金） ・最新版地震防災マップの作成 1,000千円（半分は国費による交付金） ・新規耐震パンフレットの制作・印刷 22千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性	国の方針に基づき耐震化率の目標値を90%から95%に引き上げたため、本事業の対象が拡大された。			
維持		減少	維持	増加
見直し				○
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：新栄団地建替事業

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市営住宅（新栄団地、野幌団地及びあけぼの団地の一部）	
手段（事務事業の内容、やり方）	
新栄団地、野幌団地及びあけぼの団地の一部を新栄団地に建替・集約する。 新栄団地建替の設計、工事、既存住宅の用途廃止等を実施する。 H28～H29 C棟建設，H30～H31 D棟建設，H32～H33 E棟建設，H34～H35 F棟建設	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
老朽化し、狭隘な住宅を建て替えることにより、入居者が安全に安心して暮らせるようにする。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市営住宅管理戸数	戸	286	334	280	328
対象指標 2						
活動指標 1	建設戸数	戸	0	48	0	48
活動指標 2	除却戸数	戸	44	0	54	0
成果指標 1	団地改善率	%	16.8	28.7	34.3	43.9
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	316,169	890,566	389,181	818,072
正職員人件費 (B)		千円	7,068	6,988	6,886	6,933
総事業費 (A+B)		千円	323,237	897,554	396,067	825,005

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新栄団地D棟実施設計委託 ・新栄団地C棟建設工事（建築工事・各種設備工事） 【H28-H29継続事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・新栄団地D棟実施設計委託 32,798千円 ・新栄団地C棟建設工事 772,735千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別の顔づくり事業（街路事業等）

顔づくり推進室都心整備課 都心整備係

政策	05 都市基盤				戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進				プロジェクト					
					プログラム					
開始年度	平成 7年度	終了年度	平成31年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金		

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	都心地区（野幌駅周辺地区）
手段（事務事業の内容、やり方）	・街路事業等を活用した道路整備を行う。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	・野幌駅を中心とした幹線道路網や歩行者ネットワークの整備及び交通バリアフリー化等により、安全・円滑・快適な道路網が形成される。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	都心地区の面積	ha	240	240	240	240
対象指標 2						
活動指標 1	道路整備延長	km	0.13	0.34	0	0.11
活動指標 2						
成果指標 1	事業費進捗率（累計）	%	16	21	40	62
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	126,074	205,007	590,113	748,507
正職員人件費 (B)		千円	58,898	58,230	65,034	69,327
総事業費 (A+B)		千円	184,972	263,237	655,147	817,834

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> 野幌駅南通（第2工区）の整備工事、用地買収、物件補償 都市緑地等の用地買収、基本設計 	<ul style="list-style-type: none"> 野幌駅南通（第2工区）の整備工事 81,400千円 野幌駅南通（第2工区）の物件補償 265,000千円 野幌駅南通（第2工区）及び都市緑地等の用地買収 360,285千円 都市緑地等の基本設計 8,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業） 顔づくり推進室都心区画整理課

政策	05 都市基盤			戦略	3 次世代に向けた住みよいいべつづくり				
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト	B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり（えべつ版コンパクトなまちづくり）				
				プログラム	① 様々なライフスタイルに対応した駅周辺の利便性の向上				
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
土地区画整理事業施行地区（野幌駅周辺地区）	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<p>・土地区画整理事業により、道路・駅前広場等の公共施設の整備や宅地の再配置を行う。</p> <p><事業内容></p> <p>（施行地区面積）約10.6ha （事業施行期間）H18～H36 ※清算期間5ヵ年含む</p> <p>（公共施設整備）都市計画道路、駅前広場等 （仮換地指定計画筆数）111筆 ※宅地の再配置筆数</p> <p>（物件移転計画棟数）92棟 （事業費）約7.5億円 ※人件費除く</p>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<p>・野幌地区の南北市街地の一体化など、利便性が高く快適な中心市街地を形成するため、駅周辺の公共施設等の整備改善を図る。</p>	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	施行地区の面積	ha	10.6	10.6	10.6	10.6
対象指標 2						
活動指標 1	仮換地指定を行った筆数（累計）	筆	86	94	111	111
活動指標 2	物件移転を行った棟数（累計）	棟	75	82	89	92
成果指標 1	事業費進捗率（累計）	%	63	74	83	90
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,318,323	828,166	609,606	495,245
正職員人件費 (B)		千円	78,530	77,640	76,511	69,327
総事業費 (A+B)		千円	1,396,853	905,806	686,117	564,572

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 野幌駅前南口広場、東西グリーンモール整備工事 ○ 物件補償 ○ 測量委託 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路等工事費 252,579千円 ○ 物件補償費 188,500千円 ○ 測量等委託費 45,410千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：公園管理事業

都市建設課 公園係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
公園・緑地									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理及び管理運営を指定管理者に委任する。 平成27年度より、公園施設長寿命化計画に基づき、遊具の改築を国の補助を受けて実施する。（補助率：1/2） 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設の維持管理・管理運営を適切かつ効率的に行い、市民が快適で安全に憩える公園・緑地とする。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標1	公園緑地数	箇所	230	230	230	230
対象指標2						
活動指標1	指定管理料	千円	149,498	153,502	153,349	153,349
活動指標2	改築遊具数	基	0	1	3	3
成果指標1	不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標2	累計改築遊具数	基	0	1	4	7
事業費(A)		千円	195,784	203,233	218,594	252,310
正職員人件費(B)		千円	13,743	15,140	14,920	15,021
総事業費(A+B)		千円	209,527	218,373	233,514	267,331

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による管理運営 公園施設長寿命化計画に基づく遊具改築、予防保全 遊具等の公園施設修繕 アダプトプログラム、樹木管理（剪定、伐採等）他 公園砂場砂入替、公園ベンチ及び外柵修繕 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 153,349千円 一般工事費 57,900千円 維持補修関係委託料 19,500千円 維持補修関係工事費 10,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：市民参加による公園づくり事業

都市建設課 公園係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民参加による再整備公園									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画に基づき、再整備が必要な公園の全面改修整備を実施する。 整備内容については地域の子供達や自治会の参加によるワークショップ会議により計画する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> 市民協働のシンボルとして地域に親しまれる公園にする。 公園再整備に併せて、公園施設のバリアフリー化を図ることで、誰もが利用しやすい公園にする。 									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	再整備公園数	カ所	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	ワークショップ開催数	回	4	4	4	4
活動指標 2						
成果指標 1	累計整備公園数	カ所	11	12	13	14
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	53,589	39,600	44,826	43,476
正職員人件費 (B)		千円	7,853	6,211	6,121	6,162
総事業費 (A+B)		千円	61,442	45,811	50,947	49,638

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> みづほ公園再整備工事（弥生町） 面積：約0.5ha 遊具改築、バリアフリー等 実施設計委託費、ワークショップ運営費 	<ul style="list-style-type: none"> 一般工事費 39,350千円 一般委託料 4,100千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：町名板再整備事業

開発指導課 開発指導係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・市民 ・来訪者 									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ol style="list-style-type: none"> 1. 市街化区域内の角地や町名界にある建物に所有者の同意を得た後、街区型町名板を貼付 2. これまで設置した信号機型町名板等について点検を行い、安全性を確認する 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民及び市内来訪者等に町名や地番をわかりやすい状態にする									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市民	人	120,335	119,587	119,587	119,250
対象指標 2						
活動指標 1	街区型町名板整備数	枚	328	108	247	241
活動指標 2	信号機型町名板等点検数（平成28年度から）	ヶ所	0	0	23	15
成果指標 1	所在確認の問い合わせ件数	件	13	12	10	9
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	3,204	1,845	1,848	1,845
正職員人件費 (B)		千円	2,749	2,717	3,826	3,852
総事業費 (A+B)		千円	5,953	4,562	5,674	5,697

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 街区型町名板 ～住民及び来訪者の利便性を図る ・市民要望による街区型町名板の貼付 ・未貼付箇所等現況調査及び意向確認、貼付 2. 信号機型町名板 ～住民及び来訪者の安全性を図る ・これまで設置した信号機型町名板の点検を行い、安全性を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・街区型町名板整備費 1,075千円 ・信号機型町名板点検費 770千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名： 団地集会所維持管理経費

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
団地集会所	
手段（事務事業の内容、やり方）	
団地集会所の維持・管理	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
集会所利用者が安心して利用できる。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	施設数	箇所	5	5	5	5
対象指標 2						
活動指標 1	利用可能日数	日	308	308	308	308
活動指標 2						
成果指標 1	集会所使用件数	件	507	481	600	550
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,779	2,690	2,793	2,899
正職員人件費 (B)		千円	785	776	765	770
総事業費 (A+B)		千円	3,564	3,466	3,558	3,669

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	・ 団地集会所の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集会所管理人報酬 1,800千円 ・ 集会所燃料費 90千円 ・ 集会所光熱水費 708千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：市営住宅管理経費

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市営住宅入居者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市営住宅の家賃決定、入居者募集、選考及び決定、家賃及び敷金の徴収、徴収猶予及び減免、模様替え等の承認、明け渡し請求などの処分、入居相談、世帯人数と住戸規模のミスマッチ解消の実施。施設の維持保全及び一般修繕。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市営住宅が適切に管理され、入居者が快適に生活できる（政策空家を除く。）。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市営住宅入居戸数	戸	1,006	1,000	1,030	1,020
対象指標 2	市営住宅入居者数	人	2,023	1,996	2,080	2,050
活動指標 1	維持修繕受付件数	件	576	500	550	550
活動指標 2						
成果指標 1	入居率	%	84.5	84.6	87.1	86.9
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	45,156	46,228	47,450	46,887
正職員人件費 (B)		千円	13,350	13,199	13,007	13,095
総事業費 (A+B)		千円	58,506	59,427	60,457	59,982

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の小規模修繕 住宅設備の保守点検 家賃の決定及び徴収・滞納整理 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の修繕費 20,000千円 保守点検等の委託費 14,955千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名： 弥生団地大規模改善事業

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成25年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市営住宅（弥生団地）	
手段（事務事業の内容、やり方）	
市営住宅長寿命化計画に基づき、弥生団地の大規模改善工事を計画的に実施する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
弥生団地の大規模改善工事を計画的に実施することにより、入居者が安全に安心して暮らせる市営住宅を供給する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市営住宅管理戸数	戸	223	223	223	223
対象指標 2						
活動指標 1	外部改修戸数	戸	24	55	24	0
活動指標 2	設備改修戸数	戸	0	0	24	24
成果指標 1	団地改善率（改修戸数／延べ改修戸数）	%	9.6	20.6	30.1	34.9
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	74,153	13,230	117,958	26,315
正職員人件費 (B)		千円	785	776	765	770
総事業費 (A+B)		千円	74,938	14,006	118,723	27,085

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	・ 弥生団地B棟給水設備改修工事	・ 弥生団地B棟給水設備改修工事 24,878千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
29年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上	○		
見直し			維持			
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：住宅取得支援事業

建築指導課

政策	05 都市基盤			戦略	3 次世代に向けた住みよいいつづくり					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト	B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり(えべつ版コンパクトなまちづくり)					
				プログラム	③ 高齢者等がいいききと活動しやすい居住環境の充実					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	その他	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
親と同居・近居して住宅を取得又はリフォームを希望する世帯及び住宅取得を希望する多子世帯									
手段（事務事業の内容、やり方）									
補助金交付要綱に基づき、以下の要件に該当する方に対し、住宅取得費・リフォーム費用の一部を助成する ・親と同居又は近居のために住宅を取得する方 ・親と同居するためにリフォームする方 ・住宅を取得する多子世帯（18歳未満の子が2人以上いる世帯）									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
親と同居・近居する世帯支援による転出抑制、多子世帯支援による転入促進・転出抑制を図り、高齢者が住みやすい住環境整備と子育て世帯の定住化を進める。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	親と同居等して住宅取得等を希望する世帯及び住宅取得を希望する多子世帯数(特定不能)	世帯	0	0	0	0
対象指標 2						
活動指標 1	交付申請受付件数	件	0	0	219	187
活動指標 2						
成果指標 1	支援により定住した世帯数	世帯	0	0	219	187
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	50,000	50,484
正職員人件費 (B)		千円	0	0	5,356	5,392
総事業費 (A+B)		千円	0	0	55,356	55,876

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> 親と同居又は近居のための住宅取得費用助成 親と同居するためのリフォーム費用助成 多子世帯への住宅取得費用助成 	住宅取得費、リフォーム費用の一部助成：50,000千円 事業PR費：484千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性	交付対象住宅の拡大	減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：道路景観づくり推進事業

土木事務所道路管理課 管理係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・市内の道路 ・違反広告物 									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・北海道屋外広告物条例に違反するはり紙、はり札及び立看板を除却する。 ・広告主への除却指導（年数回） ・違反広告物の除却（年4回） ・石狩支庁への除却数の報告（年2回） 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
道路の美観風致の維持、整然とした街並みとなるために違反広告物を放置しづらくなる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市内の国道・道道・市道実延長	km	863	863	865	865
対象指標 2						
活動指標 1	広告主への指導件数	件	3	1	10	4
活動指標 2						
成果指標 1	違反広告物の除却数	枚	997	1,716	1,500	1,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	769	1,324	1,329	1,329
正職員人件費 (B)		千円	1,571	1,553	1,530	1,541
総事業費 (A+B)		千円	2,340	2,877	2,859	2,870

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道屋外広告物条例に違反するはり紙、はり札及び立看板を除却する。 ・広告主への除却指導（年数回） ・違反広告物の除却（年4回） ・石狩振興局への除却数の報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・軍手等消耗品 23千円 ・除却活動員の保険料 6千円 ・広告物調査、除却委託経費 1,300千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：大麻市営駐車場管理経費

土木事務所道路管理課 管理係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
大麻市営駐車場									
手段（事務事業の内容、やり方）									
指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
低廉な料金で駐車できる駐車場を確保することにより、駅周辺の路上駐車車の削減を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理料	千円	8,489	8,489	8,489	8,489
活動指標 2						
成果指標 1	年間延べ利用台数	台	44,821	47,797	40,000	47,000
成果指標 2	苦情件数	件	0	0	0	0
事業費 (A)		千円	8,489	8,489	8,489	8,489
正職員人件費 (B)		千円	2,356	2,329	2,295	2,311
総事業費 (A+B)		千円	10,845	10,818	10,784	10,800

29年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> 市営駐車場の運営 指定管理者への管理代行 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 8,489千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
29年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：自動車対策事業

土木事務所道路管理課 管理係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
放置自動車	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・市の道路パトロール及び市民の通報により撤去。 ・所有者が確認できない場合は、市の負担で行う。 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
放置自動車により生じる障害の除去	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	放置自動車台数	台	0	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	市の撤去した放置自動車数	台	0	0	1	1
活動指標 2	所有者が撤去した台数	台	0	1	0	0
成果指標 1	放置自動車撤去率	%	100	100	100	100
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	92	92
正職員人件費 (B)		千円	393	388	383	385
総事業費 (A+B)		千円	393	388	475	477

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	・ 放置自動車の撤去	<ul style="list-style-type: none"> ・ リサイクル料金 30千円 ・ 搬送料 62千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止 その他				

事業名：自治会排雪支援事業

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	排雪指定路線以外の市道
手段（事務事業の内容、やり方）	自治会主体で実施する排雪作業に対し、ロータリ除雪車（車両のみ）とダンプトラック（車両と運転手）を貸与する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	自治会区域内の排雪作業を支援し、交通の確保を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市道総延長	km	832	831	832	832
対象指標 2						
活動指標 1	排雪延長	km	339	345	346	346
活動指標 2						
成果指標 1	自治会排雪実施率	%	75	76	76	76
成果指標 2	自治会排雪実施自治会数	自治会	95	98	99	100
事業費 (A)		千円	173,074	130,462	183,428	200,656
正職員人件費 (B)		千円	5,497	6,988	6,886	6,933
総事業費 (A+B)		千円	178,571	137,450	190,314	207,589

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	・自治会排雪実施にかかる作業車両の支援	・ダンプトラック／ロータリ除雪車の支援費用 200,656千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
29年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果）	向上	減少	維持	増加
維持						○
見直し						
新規						
休止						
廃止						
その他						

事業名：除排雪事業

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
公共除排雪対象の市道及び公共施設等	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<p>午前1時までの降雪量が10cmを超えるなど、朝方迄に除雪作業が必要と予想される場合、午前7時迄に全作業を完了するよう除雪作業を行う。 また、道路幅員の狭窄、路肩の雪堤状況等諸条件から総合的に判断し、運搬排雪作業を行う。</p>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
冬期間の円滑な道路交通網を確保する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標1	市道総延長	km	832	831	832	832
対象指標2						
活動指標1	除雪延長	km	727	728	728	728
活動指標2	排雪延長	km	123	120	120	120
成果指標1	降雪・吹雪による交通止めとなった箇所数	箇所	1	2	0	0
成果指標2						
事業費(A)		千円	700,560	631,795	946,156	926,434
正職員人件費(B)		千円	22,774	19,410	19,128	19,258
総事業費(A+B)		千円	723,334	651,205	965,284	945,692

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	・除排雪事業委託（農村地区含む）	・除排雪事業委託（農村地区含む） 842,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：私道除雪補助金

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	一般通行の用に供する私道
手段（事務事業の内容、やり方）	自治会が行う私道除雪について、市が算定する補助基準額の2分の1以内の額を自治会に補助する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	私道における冬期間の交通確保を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	私道除雪申請延長	km	1.65	1.62	1.65	1.58
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	876	850	1,449	1,388
活動指標 2						
成果指標 1	私道除雪延長	km	1.65	1.62	1.65	1.58
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	876	850	1,449	1,388
正職員人件費 (B)		千円	393	776	765	770
総事業費 (A+B)		千円	1,269	1,626	2,214	2,158

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	・私道除雪補助金10自治会 L=1.58km	・私道除雪補助金 1,388千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：不法投棄対策事業（市道）

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成17年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市道
手段（事務事業の内容、やり方）	市道に不法投棄された投棄物について、巡回を行い処理する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	不法投棄物を処理することにより、道路の機能及び景観を維持するとともに、さらなる不法投棄発生を抑止する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市道延長	km	832	831	832	832
対象指標 2						
活動指標 1	巡回回数	回	12	12	12	12
活動指標 2						
成果指標 1	不法投棄物延べ処理件数	件	335	247	170	170
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	3,527	4,792	4,800	4,800
正職員人件費 (B)		千円	785	776	765	770
総事業費 (A+B)		千円	4,312	5,568	5,565	5,570

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	不法投棄物の巡回、回収、運搬、分別の委託業務	・委託費 4,800千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名： 道道整備関連用地取得事業

管理課 総務係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成25年度	終了年度	平成34年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
土地（道道接続部分）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・事業用地内の土地や支障物件の評価 ・算定価格に基づく地権者との協議 ・地権者の同意に基づく用地取得 ・売買契約締結後の登記事務 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
公共事業（道道と市道の接続部分）のために必要な土地を確保する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	取得を要する用地の筆数	人	1	4	0	0
対象指標 2	取得を要する用地上の物件補償数	人	0	0	0	0
活動指標 1	交渉回数（年度ごと）	回	2	6	0	0
活動指標 2						
成果指標 1	契約者数	人	1	2	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	97	516	0	0
正職員人件費 (B)		千円	1,571	1,553	0	0
総事業費 (A+B)		千円	1,668	2,069	0	0

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	事業なし	予算なし

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性	対象となる道道接続部分の地権者がいないため事業休止。	減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止			○	
廃止 その他				

事業名：道路橋梁管理経費（臨時）

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市道									
手段（事務事業の内容、やり方）									
老朽化による施設の更新等の修繕工事									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
道路施設を常に良好な状態に保ち道路の走行性及び安全性を確保し、道路の利用者が安心して通行できる道路を維持する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市道総延長	km	832	831	832	832
対象指標 2						
活動指標 1	実施延長	km	4.7	4	2.7	2.1
活動指標 2						
成果指標 1	道路維持管理上の不具合件数	件	1,177	999	800	800
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	504,223	619,663	438,335	437,005
正職員人件費 (B)		千円	10,994	16,304	13,772	13,865
総事業費 (A+B)		千円	515,217	635,967	452,107	450,870

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・工事路線現況測量委託 ・路面凍上改修工事、排水整備工事等 ・車両購入 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託費 9,292千円 ・使用料 817千円 ・工事費 426,800千円 ・投資関係備品購入費 96千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：道路橋梁管理経費（経常）

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤		戦略						
取組の 基本方針	02 交通環境の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市道	
手段（事務事業の内容、やり方）	
道路の損傷箇所の修繕・復旧対応	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
道路施設を常に良好な状態に保ち、道路の走行性及び安全性を確保し、道路の利用者が安心して通行できる道路を維持する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市道総延長	km	832	831	832	832
対象指標 2						
活動指標 1	市道管理延長	km	832	831	832	832
活動指標 2						
成果指標 1	道路維持管理上の不具合件数	件	1,177	999	800	800
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	155,187	155,171	150,008	150,080
正職員人件費 (B)		千円	9,424	10,093	9,564	9,629
総事業費 (A+B)		千円	164,611	165,264	159,572	159,709

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> 路面清掃委託 道路草刈委託 道路維持作業委託 舗装補修工事 原材料費（砂利、常温合材等） 	<ul style="list-style-type: none"> 委託費 53,000千円 工事費 80,080千円 原材料費 17,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：ロードヒーティング管理経費

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤		戦略						
取組の基本方針	02 交通環境の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
路面融雪施設									
手段（事務事業の内容、やり方）									
冬季間において巡回、点検を実施し、正常に作動しているかどうかの確認									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
ロードヒーティングを適切に管理し、円滑な移動を可能にし、市民の安全性、利便性、快適性を高める。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	ロードヒーティング延長	m	1,197.6	1,197.6	1,197.6	1,197.6
対象指標 2	ロードヒーティング面積	m ²	6,765.5	6,765.5	6,765.5	6,765.5
活動指標 1	巡回・点検回数	回	16	16	16	16
活動指標 2						
成果指標 1	管理上の不具合件数	件	5	4	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	28,251	29,984	36,224	35,890
正職員人件費 (B)		千円	785	776	765	770
総事業費 (A+B)		千円	29,036	30,760	36,989	36,660

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	・ロードヒーティング維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 32,300千円 ・施設等修繕費 2,500千円 ・役務費 39千円 ・委託費 1,051千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：橋梁長寿命化修繕事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市内の橋梁									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・江別市橋梁長寿命化修繕計画（平成25年2月19日策定）に基づき修繕工事を実施する。 ・事業の進め方については、5年を中途に定期点検を実施し、工事の優先性を検証することにより、効率的かつ効果的に計画を進める。 ・社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6／10） 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
計画的な予防修繕による橋梁の延命化（長寿命化）を図ることで、修繕費用等を縮減する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標1	橋梁（市道）	橋	155	155	155	155
対象指標2	修繕が必要な橋梁数	橋	46	46	46	46
活動指標1	当該年度修繕対象橋梁数	橋	2	1	1	2
活動指標2						
成果指標1	修繕工事が完了した橋梁の割合	%	4.35	6.52	8.7	13
成果指標2						
事業費（A）		千円	51,103	68,558	75,000	75,152
正職員人件費（B）		千円	3,927	6,211	4,973	6,548
総事業費（A+B）		千円	55,030	74,769	79,973	81,700

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁の定期点検 ・橋梁長寿命化修繕計画の更新 ・橋梁修繕工事の設計 ・橋梁修繕工事の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期点検委託 7,902千円 ・長寿命化修繕計画更新 8,000千円 ・修繕工事実施設計 33,750千円 ・修繕工事 25,500千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：道路施設再整備事業

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
道路施設全般									
手段（事務事業の内容、やり方）									
道路施設において、総点検を行い現状の状況を把握する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
今後老朽化する道路施設全般について、総点検を行い、落下、倒壊等の恐れのあるものは改修、修繕を図り第三者への被害を防止する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	道路施設数	箇所	210	209	212	212
対象指標 2	点検対象道路延長	k m	247	0	247	0
活動指標 1	道路施設点検件数	箇所	193	9	11	0
活動指標 2	道路路面調査延長	k m	247	0	0	0
成果指標 1	改修、修繕箇所数	箇所	0	0	0	0
成果指標 2	改修、修繕延長	k m	0	0	1.8	2.2
事業費 (A)		千円	24,840	7,254	192,500	175,450
正職員人件費 (B)		千円	3,927	2,329	4,591	4,622
総事業費 (A+B)		千円	28,767	9,583	197,091	180,072

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	・舗装修繕工事 約2,200m	・委託費 17,350千円 ・工事費 158,100千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規		○		
休止				
廃止 その他				

事業名：道路橋梁再整備事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内の幹線道路（市道）	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> 路面性状調査の結果、損傷度が高いと評価された路線について、路盤改良やオーバーレイ舗装等の再整備を実施する。 社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6／10） 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<ul style="list-style-type: none"> 冬期間の凍上や老朽化等により、損傷した道路の修繕を行うことで、車両等の安全な通行環境を確保する。 	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	再整備が必要な幹線道路	km	0	0.36	0.36	0.36
対象指標 2						
活動指標 1	当該年度の再整備の対象幹線道路	km	0	0.03	0.33	0.14
活動指標 2						
成果指標 1	再整備が完了した幹線道路の割合	%	0	8.3	100	86
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	8,575	74,020	55,300
正職員人件費 (B)		千円	0	3,494	4,973	5,777
総事業費 (A+B)		千円	0	12,069	78,993	61,077

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構造物の調査設計（擁壁） ・ 兵村9丁目通り車道の道路改良 ・ 兵村9丁目通り歩道の道路改良 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構造物調査設計委託（擁壁） 7,500千円 ・ 兵村9丁目通り道路改良工事 44,200千円 ・ 兵村9丁目通り歩道改良工事 3,600千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：百間境道路整備事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
未整備の百間塚道路（市道）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・通学路等公共施設のアクセスとして歩道の整備を行う。 ・社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6／10） 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・歩道の整備及び狭隘部の解消など生活幹線道路として必要な整備を行う。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	整備が必要な生活幹線道路	km	0	0	0.37	0.37
対象指標 2						
活動指標 1	当該年度の整備対象である生活幹線道路	km	0	0	0.08	0.16
活動指標 2						
成果指標 1	整備が完了した生活幹線道路の割合	%	0	0	21.6	43.2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	74,607	96,522
正職員人件費 (B)		千円	0	0	4,973	6,162
総事業費 (A+B)		千円	0	0	79,580	102,684

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・元野幌274号道路改修に伴う用地取得 ・元野幌274号道路の車道改修工事 ・元野幌274号道路の歩道改修工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・元野幌274号道路改修に伴う用地取得 25,571千円 ・元野幌274号道路車道改修工事 29,900千円 ・元野幌274号道路歩道改修工事 27,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：高砂駅周辺整備事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
高砂駅北側の鉄西線（市道）	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・高砂駅北側に、送迎車両用の駐車場を整備するため、J R協議（各種指定解除）、用地確定測量、支障木の伐採、埋蔵文化財発掘事前調査、埋蔵文化財発掘調査、駐車場整備の6項目を実施する。 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<ul style="list-style-type: none"> ・高砂駅北側の市道に、送迎車両が停車することによる車両渋滞の改善策として、駐車場の整備を行い、高砂駅周辺の通行環境の改善を図る。 	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	駐車場整備箇所	箇所	0	0	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	当該年度の実施対象項目数	項目	0	0	3	2
活動指標 2						
成果指標 1	実施済み項目の割合	%	0	0	50	83
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	33,405	15,433
正職員人件費 (B)		千円	0	0	2,295	2,311
総事業費 (A+B)		千円	0	0	35,700	17,744

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・支障木の伐採 ・埋蔵文化財発掘調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・支障木の伐採 4,000千円 ・埋蔵文化財発掘調査 11,433千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				